

### (3) ソフトウェアの内容

#### ○衣生活実態調査ソフト

実践校と全国の衣生活実態の傾向を、計算、図形作成機能によりグラフ化して提示する。メニューより知りたい項目を選択し、繰り返し見ることができる。

#### ○被服管理データベース（資料4参照）

表IV-2のような項目でデータベースを構成し、項目・目的別検索により問題の焦点化を図る。また、それらのデータを一覧表やグラフに提示することができ、目的に応じてプリントできる。

表IV-2被服管理データベース一覧表（部分）

目的:	A 被服名	B 季節	C 色	D 柄	E 材質	F サイズ	G 購入年
通学者:制服	夏	紺系	無地	紺紡	11号	89	
通学者:制服	冬	紺系	無地	毛	11号	89	
通学者:アラシ-半	夏	白系	無地	綿	L	89	
通学者:アラシ-半	夏	白系	無地	L	L	89	
通学者:アラシ-半	春・秋・冬	白系	無地	綿	L	89	

H 価格	I 頻度	J 収納	K 手入れ	L 補充	M 廃棄	N 備考
	多い	ロッカー	クリーニング			
2300	多い	洋カス	クリーニング			
2300	多い	整理カス	洗濯機			
2900	多い	整理カス	洗濯機			

### (4) 授業実践

#### ① 概要

学習指導計画（表IV-3）に基づき、実施した。本題材は、自分の衣生活を計画的に営む態度の育成を目指す。ここでは、コンピュータを問題解決の道具として活用し、主体的な学習活動を促そうとするものである。まず、本題材への興味・関心を高めるために、衣生活実態調査ソフトで学習への動機づけを

表IV-3 学習指導計画 家庭一般「被服計画」

（総時数6時間）

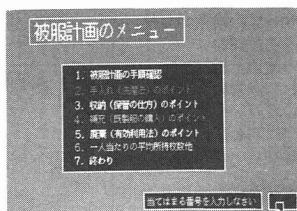
時間	学習内容	ねらい	ソフトウェアの内容	ソフトウェア利用のねらい
1	・衣生活の現状を各種データより把握する。 ・被服費の調達方法を比較検討する	・衣料の生産と消費の現状が分かる。 ・被服費の傾向や特徴が分かる。	○衣生活実態調査ソフト （データの提示）	学習の動機づけ 問題把握
2	・既製服の選択購入の仕方を調べる ・省資源・省エネを考えた被服の管理の在り方を考える。	・既製服購入の要点が分かる。 ・被服管理の社会化の背景と実態が分かる。 ・社会化を上手に活用し、被服管理の合理化を図ろうとする。	被服費、購入時期、被服の選び方、調達方法、購入基準、管理法、着用しにくい被服の理由、使い捨て等	
3	・手持ち被服の実態を調べ、データベースを作成する。	・被服の種類、着用季節、色、柄、材質、サイズ、購入年、価格、使用頻度	○被服管理データベース	情報活用能力を高める（情報収集、選択、処理）。
4	・自分の衣生活の傾向を知る。	収納、手入れ法などを入力して、データベースを作成できる。 ・自分の衣生活の問題点が分かる。	○衣生活自己診断ソフト （被服管理の実態診断）	問題把握、学習意欲を高める。
5	・自分の衣生活の課題をつかむ。	・問題点をまとめ、分析、検討を試みる。	○被服管理データベース	情報活用能力を高める（情報検索） 問題解決
6	・被服計画をたてる。	・被服計画を作成することができる。	○被服計画補助ソフト ・計画の手順確認 ・既習事項の確認 ・各種情報の提示	計画の構想 問題解決のヒント、知る楽しさ、復習、学習への自信

#### ○衣生活自己診断ソフト

25項目の質問による衣生活全般の自己診断の結果を計算、図形作成機能により提示する。問題点にはコメントが付き、プリントして資料として活用することができる。

#### ○被服計画補助ソフト（タイプ別）

被服管理計画に必要な情報をメニューで提示し、必要に応じて選択することができる。イメージスキャナの活用により写真やイラストを導入し、画面に親しみを持たせながら情報を提供する。



←メニュー画面

収納（保管の仕方）のポイントの1画面

